

第92回三多摩メーデー宣言（案）

私たちは、本日、第92回三多摩メーデーを開催しました。今年の三多摩メーデーは、日本のメーデー101周年にあたり、新たな100年の第一歩となるメーデーです。しかし、政府・東京都の感染対策の無為無策の中、三度の緊急事態宣言という事態となりました。実行委員会は、組合員の安全と新型コロナウイルス感染防止のため、井の頭公園西園での式典を中止し、ネット配信によるメーデーとして開催することとしました。

働く仲間のみなさん

コロナによる医療崩壊の危機の中、政府と東京都は、公立病院の統廃合・民間委託を進める一方、医療機関への支援は進まず、最前線でがんばっている医療労働者の賃金・労働時間の悪化も放置したままです。

働く仲間の皆さん

新型コロナ感染による医療・介護、公衆衛生の危機は、1990年代から進められてきた新自由主義的経済政策が、いかに労働者・国民の命と暮らしを守る仕組みを壊し、地域経済を停滞させてきたかを明らかにしました。いま世界各国で新自由主義的経済への強い危機感が表明され、新自由主義を乗り越えるポストコロナの社会が求められています。

働く仲間の皆さん

コロナに続く不況を乗り越えるために最も有効な対策は、最低賃金を全国一律1500円に大幅に引き上げることです。これは中小零細企業への最賃引き上げ分の補償と社会保険料負担増の減免のための8兆円規模の予算があれば、すぐに実現できます。8時間はたらけば誰もが安心して暮らせる社会は、地域経済を活性化し、国内生産を増やし、税収もふえ、経済の好循環につながります。

働く仲間のみなさん

一部の大企業と富裕層に富が集中し、貧富の格差が拡大する中、日本では市民と野党の共闘が深化し、9条改憲を阻止し続けてきました。コロナ禍の中、自粛と一体の補償、暮らしと営業を守る制度、医療・福祉守れなどの運動を進め、休業支援金はじめ、不十分ながら実現させてきました。今、憲法の原則にある労働者・国民の権利を守り発展させていくことが大事です。都議会議員選挙、総選挙は新自由主義的な弱肉強食の社会を、国民の命と暮らしを最優先する社会に変えるチャンスです。

働く仲間の皆さん

核兵器廃絶に向けた世界の粘り強い運動の結果、核兵器禁止条約が今年1月22日に発効しました。世界のたたかいと響きあい、多国籍大企業のための新自由主義とたたかい、8時間はたらいて暮らせる社会の実現、貧困解消と格差是正、差別・ハラスメントの撤廃、ジェンダー平等を求め続けましょう。持続可能な社会、戦争のない平和な世界をめざしましょう。

働くものの団結万歳！ 世界の労働者万歳！ 第92回三多摩メーデー万歳！

2021年5月1日 第92回三多摩メーデー